

農業における女性の活躍推進について

農林水産省

経営局 就農・女性課 女性活躍推進室

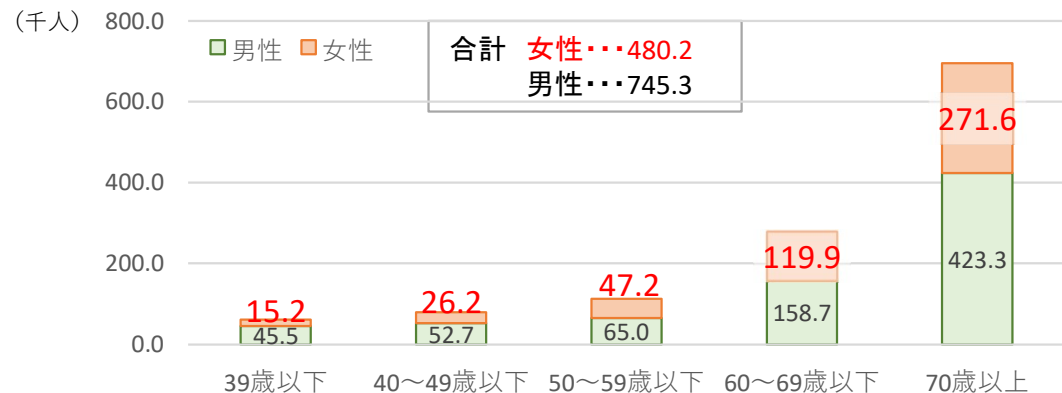
令和5年1月

女性農業者の状況

- 女性は基幹的農業従事者の約4割を占める重要な担い手。
- 今後の農業の発展、地域経済の活性化のためには、生活者の視点や多彩な能力を持つ女性農業者が力を発揮していけるようにすることが必要。

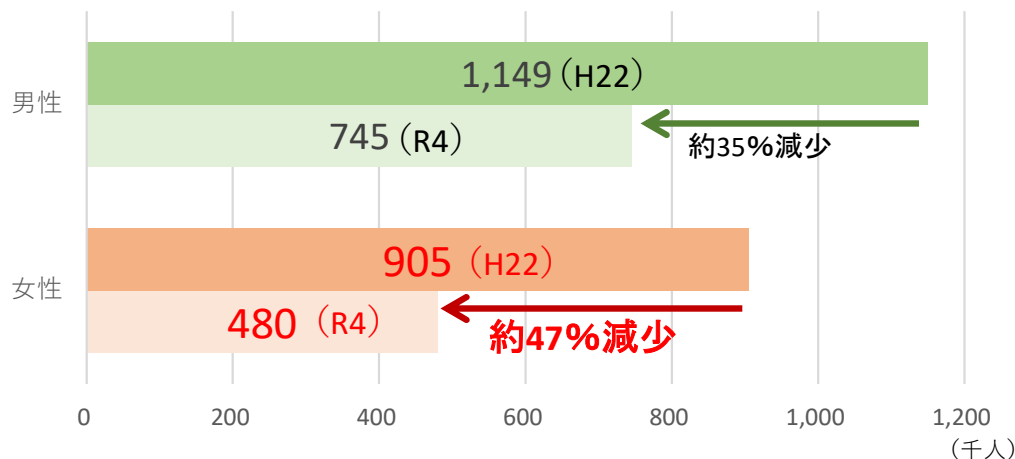
基幹的農業従事者数に占める女性割合(令和4年)

	合計	39歳以下	40~49歳以下	50~59歳以下	60~69歳以下	70歳以上
女性割合	39.2%	25.0%	33.2%	42.1%	43.0%	39.1%



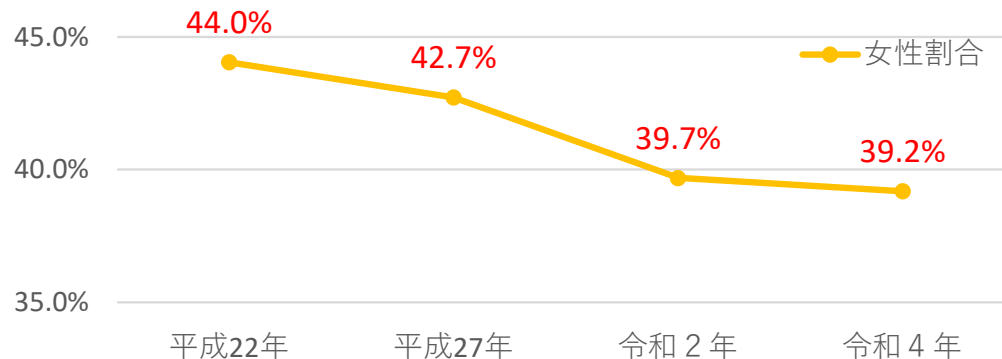
資料:農林水産省「令和4年農業構造動態調査」(調査期日:令和4年2月1日)
 基幹的農業従事者とは15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事を主として主に自営農業に従事している者

女性の基幹的農業従事者数の推移



資料:農林水産省「令和4年農業構造動態調査」、「2010年世界農林業センサス」(組替集計)

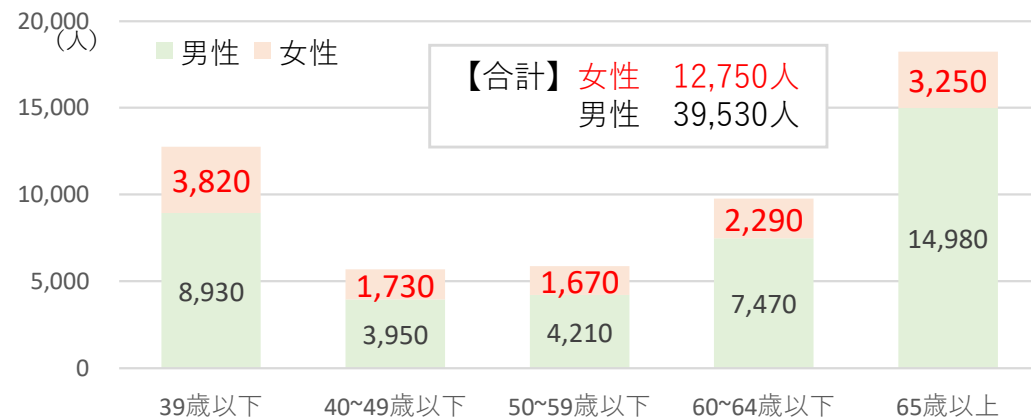
基幹的農業従事者に占める女性の割合の推移



資料:農林水産省「令和4年農業構造動態調査」、「2020年農林業センサス」、「2015農林業センサス」(組替集計)、「2010年世界農林業センサス」(組替集計)

新規就農者数に占める女性の割合(令和3年)

	39歳以下	40~49歳以下	50~59歳以下	60~64歳以下	65歳以上	合計
女性割合	30.0%	30.5%	28.4%	23.5%	17.8%	24.4%

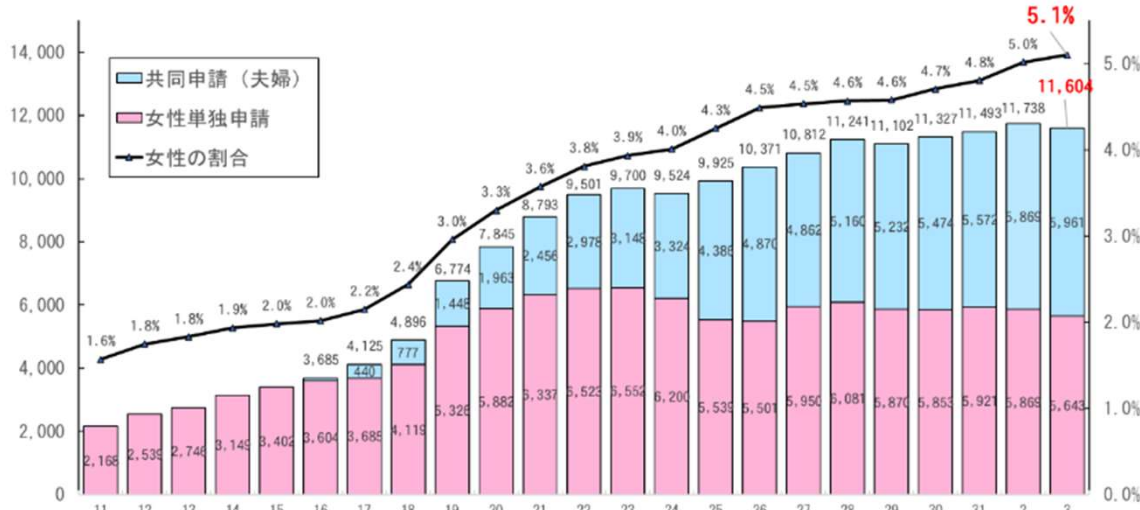


資料:農林水産省「令和3年新規就農者調査」

女性の経営参画と経営状況の関係

- 女性が認定農業者になることによって、経営における女性の位置づけが明確化。
- 農業経営体のうち個人経営体の約34%で女性が経営方針の決定に関わっている。
- 女性が「営業・販売」「6次化」の分野で経営に関与すると経常利益の増加率が高い傾向。

女性の認定農業者数の推移



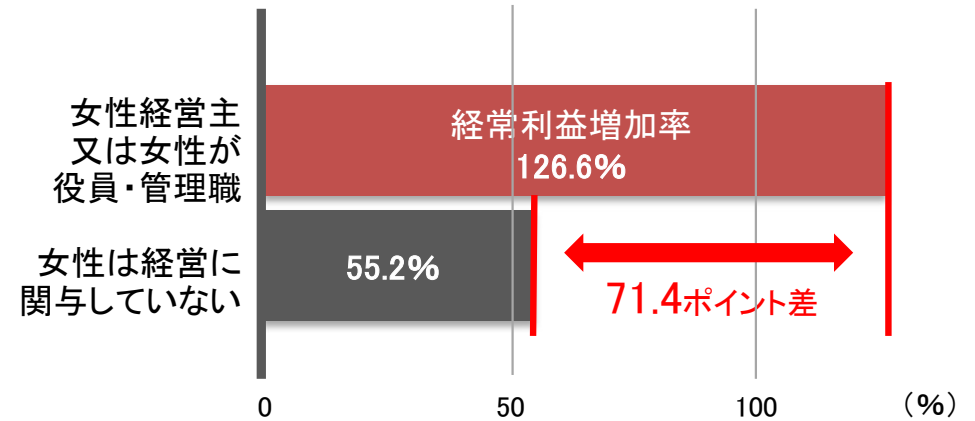
資料：農林水産省「農業経営改善計画の営農類型別等の認定状況」

経営方針の決定への関わり(農業経営体のうち個人経営体)

経営主が女性の農業経営体①	経営主が男性だが、女性が経営方針決定に参画している農業経営体		経営主が男性で、経営主のみが経営方針を決定している農業経営体	女性が経営方針の決定に関わっている農業経営体(=①+②+③)
	男女の経営方針決定参画者がいる②	女の経営方針決定参画者がいる③		
5.5%	6.7%	21.4%	62.7%	33.7%

資料：農林水産省「令和3年農業構造動態調査」

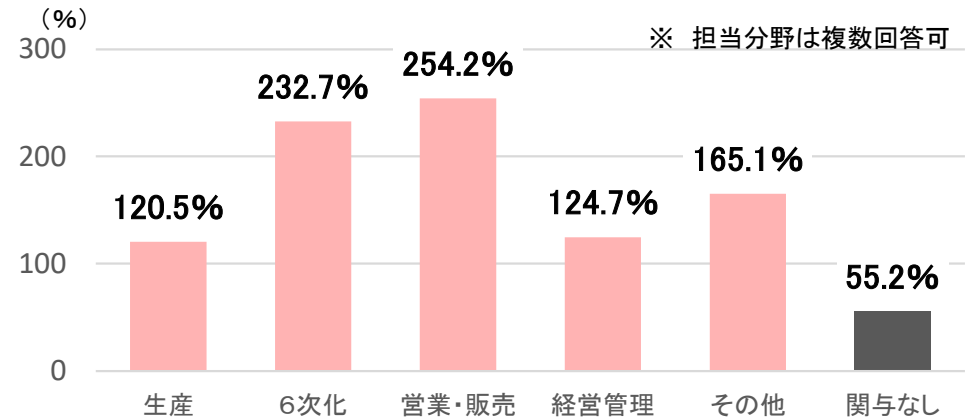
女性の経営への関与別経常利益増加率(直近3年間)



(資料)

- 株式会社日本政策金融公庫「平成28年上半期農業景況調査」(平成28年9月)による。
- 調査対象は、日本政策金融公庫のスーパーL資金又は農業改良資金の融資先。

女性の担当分野と経常利益増加率(直近3年間)



(資料)

- 株式会社日本政策金融公庫「平成28年上半期農業景況調査」(平成28年9月)による。
- 調査対象は、日本政策金融公庫のスーパーL資金又は農業改良資金の融資先。

家族経営協定の推進

- 家族経営協定締結農家数は毎年増加。締結農家数は約6万経営体（主業経営体数の約29%）。
- 仕事と生活のバランスに配慮した働き方を推進する上で、引き続き協定締結の重要性を周知。

- ・家族経営協定とは、近代的な家族農業経営の実現を目指し、経営の方針や家族一人ひとりの役割、就業条件・就業環境などについて家族みんなで話し合いながら、第三者の立ち会いの下、取り決めるもの。
- ・第5次男女共同参画基本計画(令和2年12月閣議決定)において、家族経営協定の締結数7万件(令和7年度)を成果目標としている。

協定締結農家数の割合

家族経営協定 締結農家数	6.0万 (R4.3時点)
主業経営体数	20.5万戸
主業経営体に占める締結農家の割合	29.1%

資料:農林水産省「令和4年農業構造動態調査」、「家族経営協定に関する実態調査」
注:主業経営体とは、農業所得が主(世帯所得の50%以上が農業所得)で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体。

取り決めている協定の内容

取決め内容	割合
農業経営の方針決定	94.4%
労働時間・休日	94.0%
農業面の役割分担(作業分担、簿記記帳等)	88.4%
労働報酬(日給・月給)	74.1%
収益の配分(日給・月給以外の利益の分配)	66.3%
経営移譲(継承を含む)	57.1%

資料:農林水産省調べ(令和4年3月31日現在)
注:複数回答。

協定締結事例

Lindo-tomaco, Farm (リントマコファーム) (千葉県銚子市)

石毛善一さん(経営主),芳江さん(経営主の妻)
佳知さん(後継者の夫),麻里子さん(後継者)

○締結のきっかけ

- ・女性グループで家族経営協定について学習したことを機に、平成26年に協定を締結。
- ・後継者の長年の夢である「農家レストラン」を実現するために、令和3年に協定の内容を見直して再締結し、後継者も認定農業者の共同申請。

○締結の効果

- ・役割分担や就業条件の明確化により、研修会等にも気兼ねなく参加でき、個々がスキルアップ。
- ・働くためのエネルギー再生産の時間を重視し、個々がゴルフや旅行等でリフレッシュするなど、メリハリのある生活が実現可能に。



お野菜クリニック とまりこ食堂を開設

制度上のメリット

○認定農業者制度

実質的に共同経営を行っている場合、収益の配分と経営方針決定への参画が明確にされている家族経営協定が結ばれていること等を要件に、夫婦等による認定農業者の共同申請が認められる。

○農業者年金

青色申請をしている認定農業者等と家族経営協定を締結して、経営に参画している配偶者、後継者に対しては、基本となる保険料(20,000円)のうち一定割合の国庫助成が行われる。

○新規就農者育成総合対策のうち経営開始資金

夫婦ともに就農する場合(家族経営協定、経営資源の共有などにより共同経営者であることが明確である場合)は、夫婦合わせて1.5人分を給付する。

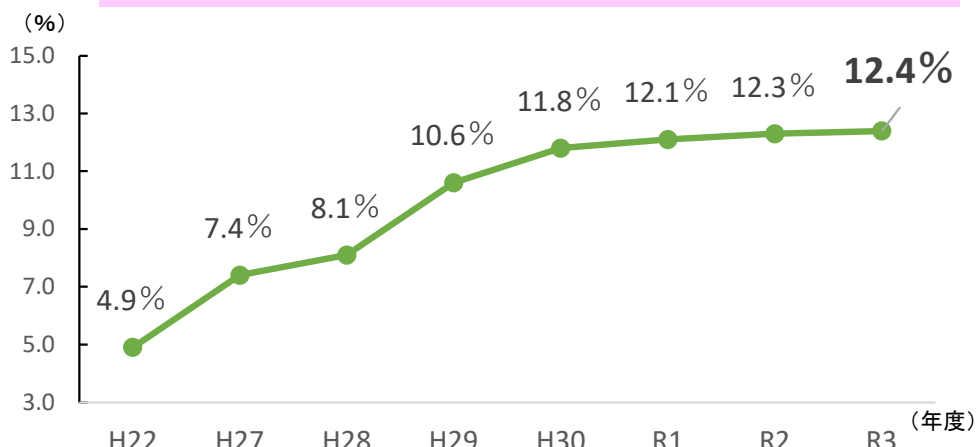
○新規就農者育成総合対策のうち経営発展支援事業

家族経営協定等により、農業経営の方針、農作業の役割分担等を書面で締結している場合に配分ポイントを加算

農業委員など政策・方針決定過程への女性の参画の促進

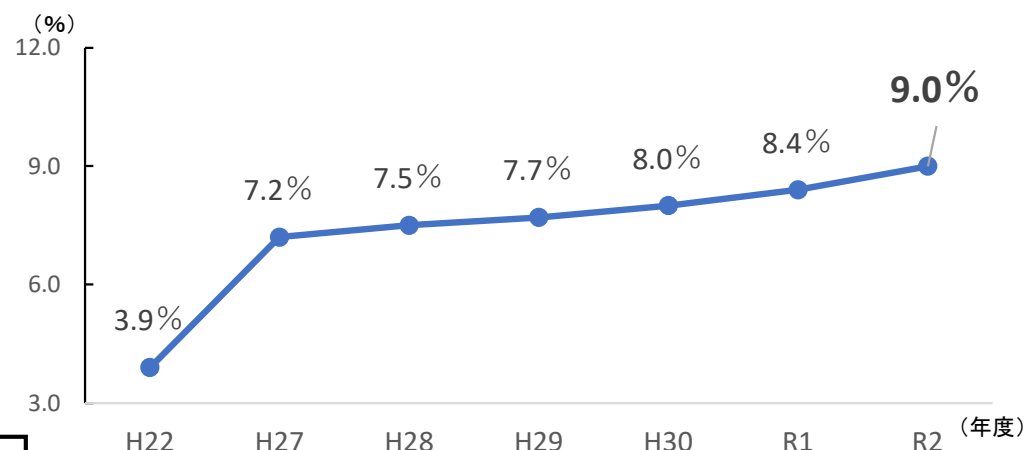
- 第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月閣議決定）においては、全ての分野において「指導的地位に占める女性の割合が2020年代の可能な限り早期に30%程度となるよう目指して取組を進める。」とされている。
- 同計画において、農業委員に占める女性の割合、農業協同組合の役員に占める女性の割合の目標に加えて、新たに、土地改良区（土地改良区連合を含む。）の理事に占める女性の割合の目標を設定。

○農業委員に占める女性の割合



資料：農林水産省「農業委員への女性の参画状況」（注：各年とも10月1日現在）

○農業協同組合の役員に占める女性の割合



資料：農林水産省「総合農協統計表」（注：各事業年度末時点）

第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月閣議決定）における成果目標

○農業委員に占める女性の割合

早期に**20%**、2025年度までに**30%**

※ 土地改良区（土地改良区連合を含む。）の理事に占める女性の割合について、2025年度までに**10%**とする目標を設定（2016年度は0.6%）

○農業協同組合の役員に占める女性の割合

早期に**10%**、2025年度までに**15%**

女性活躍・男女共同参画の重点方針2022（令和4年6月3日決定）

○市町村や農協に対して、女性の農業委員や農協役員の登用割合の目標や女性登用のための具体的取組を定めるよう促す。

○これらの策定状況、登用実績については、毎年調査・公表し、さらに取組を強化していく。

第5次男女共同参画基本計画(R2年12月閣議決定)における成果目標

項目		成果目標 (令和7(2025)年度)	現状 (最新値)
農業委員に占める女性の割合	女性委員が登用されていない組織数	0	254/1,702 (令和3(2021)年度)
	農業委員に占める女性の割合	20%(早期)、 更に30%を目指す	12.4% (令和3(2021)年度)
農業協同組合の役員に占める 女性の割合	女性役員が登用されていない組織数	0	100/587 (令和2(2020)年度)
	役員に占める女性の割合	10%(早期)、 更に15%を目指す	9.0% (令和2(2020)年度)
土地改良区 (土地改良区連合を含む。)の理事に 占める女性の割合	女性理事が登用されていない組織数	0	4,060/4,276 (令和3(2021)年度)
	理事に占める女性の割合	10%	0.6% (令和3(2021)年度)
認定農業者数に占める女性の割合		5.50%	5.1% (令和2(2020)年度)
家族経営協定の締結数		70,000件	59,515件 (令和3(2021)年度)

資料：内閣府「第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月閣議決定）における成果目標」を基に農林水産省作成

注1 農業委員 「農業委員への女性の参画状況」令和3年10月1日時点

注2 農協役員 「総合農協統計表」令和2事業年度末時点

注3 土地改良区 「土地改良区設立状況等調査について」令和4年3月末時点

注4 認定農業者 農林水産省経営局経営政策課調べ「農業経営改善計画の営農類型別認定状況」令和3年3月末時点

注5 家族経営協定 家族経営協定に関する実態調査 令和4年3月末時点

農業協同組合・農業委員会「女性登用の取組事例と推進のポイント」

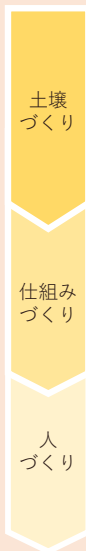
- 女性の登用が進んでいる農協・農業委員会は、女性登用に向けた土壌づくり（例：JA幹部から男性組合員に対する女性登用の意義の周知）、仕組みづくり（例：参与制度の導入、一日農業委員体験会）、人づくり（例：事務局や先輩女性によるサポート）の3つのステップを実施。
- 女性登用により、人・農地プランの円滑な策定、JAの売上への貢献等の様々な効果が発生。



「女性登用の取組事例と推進のポイント」検索

農協

登用に向けた3つのステップ



（取組例）
組合員への意義の周知、農協内の女性職員の活躍等により、地域や女性自身の意識が向上

参与制度や女性枠の設置、役員選考委員への女性の選出

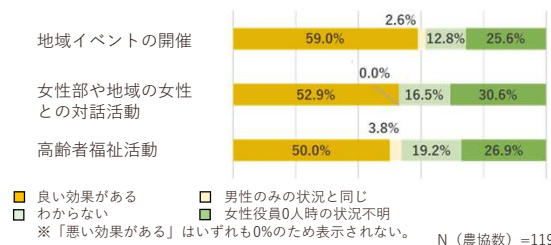
女性役員が活躍しやすい雰囲気づくりや研修の実施

登用の効果

- 農業者の所得増大・農業生産の拡大（販売促進、直売所活性化、商品開発など）
- 地域の活性化（生活インフラの強化、組合員の満足度向上、地域のPR、農協運営活性化など）

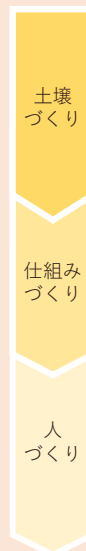
女性役員登用がもたらす効果（アンケート結果）

問：女性役員が0人の時と比較した組織・事業への効果（上位3分野）



農業委員会

登用に向けた3つのステップ



（取組例）
自治体での理解醸成や女性職員の登用、体験会の開催等により、地域や女性自身の意識の向上

女性の推薦体制の構築、登用されやすい選考の仕組み

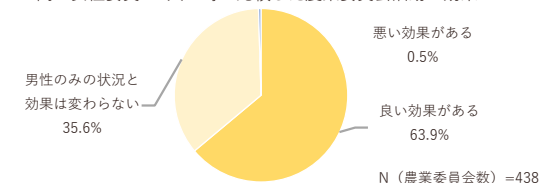
農業委員会事務局や女性委員同士のネットワーク構築、会長職へのステップアップ支援

登用の効果

- 組織の活性化（広報活動を通じた組織・活動の認知向上、会議の活性化など）
- 農業委員業務の向上（地域の多様な声を反映した農地集積・遊休農地の発生防止、農業者年金の加入促進、女性としての経験を活かした多様な意見の提出など）

女性委員の活動による効果（アンケート結果）

問：女性委員が0人の時と比較した農業委員会活動の効果



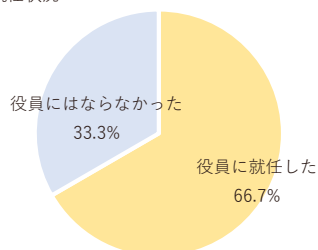
<事例>

○JA新はこだて（北海道）

- ・女性が理事会にオブザーバー参加する「**参与**」制度を導入。翌期の改選で女性参与2名が**理事に就任**。
- ・女性理事は、ネットワークを活かした**正組合員の加入推進**、過疎地域における野菜の**移動販売**等を実施し、**農協運営の活性化**や地域住民の**生活の質の向上**に貢献。

参与の役員への就任状況（アンケート結果）

問：農協運営に参与等として参加した人の翌期以降の役員への就任状況



N（参与の仕組みがある／あった農協数）=15

<事例>

○松川町農業委員会（長野県）

- ・女性委員が**人・農地プランの策定**を主導し、地域住民へのアンケート、話し合いにおけるファシリテーションを実施。
- ・女性が主導することで、**地域の女性の参画**が進展。**アンケートの回収率は8割**、**話し合いの女性参加率は4割**を達成し、プランの策定を実現。
（同町内他地区の平均回収率 約5割、平均女性参加率 約1割）



人・農地プラン策定の話し合いを主導する女性委員（中央）

農業委員会・農協における女性の活躍事例

久保田節子さん（埼玉県）

東松山市農業委員会 農業委員
農業委員11名／女性4名



特徴的な取組：

- ・飛び地の田畑が多く作業効率が悪いことに課題を感じ、**地域住民へのアンケートを実施**。地域住民の農地集積の意向をとりまとめ、**集積を推進**。
- ・アンケートでは土地改良区会長との連名、地域精通者の協力があることを記載し、**周囲の理解を得やすい工夫**も。
- ・近隣委員会と合同で、首長に女性委員登用を要望。

平野美代子さん（福岡県）

糸島農協 理事
農協役員25名／女性2名



特徴的な取組：

- ・JAの**大型直売所「伊都菜彩」**（女性部の朝市夕市が前身）の運営委員会を担当。
- ・女性部グループの中心として、**甘酒ジェラートを開発に貢献**し、**伊都菜彩**のほか、**セブンイレブン**で販売。
- ・**農業委員**や地域、行政と連携し、耕作放棄地問題に取り組む、**約4反の放棄地を解消**。

熊谷玲子さん（岩手県）

大船渡市農業委員会 農業委員
農業委員9名／女性3名



特徴的な取組：

- ・日頃、取り組んでいる農地法に基づく許可業務や農地パトロールの成果を活用しながら、市が実施する樅の産業化の一環として、**耕作放棄地への樅苗の植栽**の中心的役割を担う。
- ・また、**遊休農地を活用**した「気仙茶」の試験栽培を主導。

小宮寛美さん（千葉県）

市川市農協 理事
農協役員35名／女性4名



特徴的な取組：

- ・**農業女子プロジェクトメンバー**。父親の梨農家を継承し、**地区の推薦を受けて農協の理事**として選出。
- ・信用・共済部門委員会の担当として、**農協の運営に対する助言等**を実施。
- ・農業女子プロジェクトにおける企業や他地域の女性農業者との連携事例を**地域の農業者に発信**。

女性が変わる未来の農業推進事業

【令和5年度予算概算決定額 85（85）百万円】
（令和4年度補正予算額 2,600百万円の内数）

<対策のポイント>

女性農業者の能力の発揮等による農業の発展、地域経済の活性化のため、女性が働きやすい環境づくり、女性グループの活動推進、地域のリーダーとなり得る女性農業経営者の育成、女性農業者の活躍事例の普及等の取組を支援します。

<事業目標>

- 農業委員に占める女性の割合向上（30% [令和7年度まで]）
- 農業協同組合役員に占める女性の割合向上（15% [令和7年度まで]）
- 土地改良区理事に占める女性の割合向上（10% [令和7年度まで]）
- 女性の認定農業者の割合向上（5.5% [令和7年度まで]）
- 家族経営協定の締結数増加（70,000件 [令和7年度まで]）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 女性が変わる未来の農業推進事業

① 女性活躍に向けた全国事業

全国共通の研修コンテンツの作成や地域をリードする女性農業者の活躍事例の普及等の取組を支援します。

② 地域における女性活躍推進事業

各都道府県において、地域の女性活躍の実情に応じ、女性農業者の育児と農作業のサポート活動等、女性が働きやすい環境の整備や、地域を牽引する女性リーダーの育成等、社会参画の推進に向けた取組を支援します。

2. (令和4年度補正予算)

新規就農者確保緊急対策のうち女性の就農環境改善支援事業

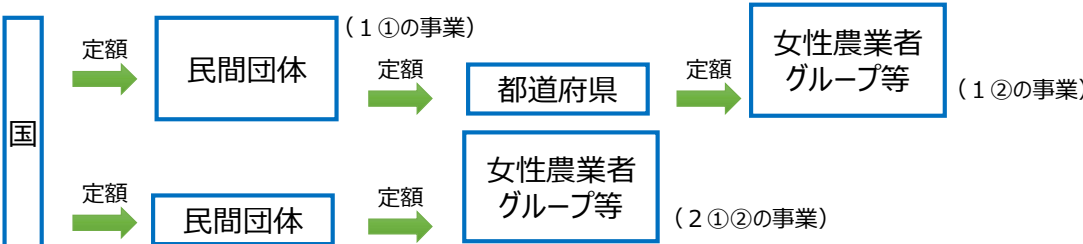
① 女性が働きやすい環境の整備

女性が働きやすい環境の整備に向けた簡易な改修やリース等による、男女別トイレ、更衣室、託児スペース等の確保を支援します。

② 地域の女性農業者グループの活動等支援

女性農業者の居場所となる女性グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展や女性農業者グループ等の先進的な取組事例等の発信を支援します。

<事業の流れ>



女性活躍に向けた Stage	農業・農村への呼び込み	農業・農村への定着	経営参画 経営発展	地域の方針策定への参画
全国事業	研修コンテンツの作成 地区事業で活用できる研修コンテンツ（女性リーダー育成、女性活躍の意義等）の作成			
	女性活躍の理解促進 地域をリードする女性農業者の活躍事例の普及等			
令和5年度予算 地域事業*	環境整備	女性が働きやすい環境の整備 女性農業者の育児と農作業のサポート活動、家族経営協定の締結に向けた相談会の開催等を支援		
	社会参画の推進	女性活躍の理解促進 女性活躍の意義、女性活躍の事例等について研修会等を通じ周知		
		地域の女性農業者グループの活動推進 女性グループの事業活動や研修会の開催等を支援	リーダー育成 地域の実情に応じた女性リーダー育成研修の実施	
令和4年度補正	環境整備	男女別トイレ、更衣室、休憩室、託児スペース、高さが調整できる作業台、アシストスーツ等の確保を支援		
令和4年度補正	グループ活動等支援	グループ活動の発展に向けた先進事例調査 新商品開発のための試作品づくり 等を支援		
		女性農業者グループ等の先進的な取組事例等の発信		

* 地域事業については、実施する都道府県において農業分野の女性登用の目標及び目標達成に向けた取組計画を定めていること等を要件化

【お問い合わせ先】 経営局就農・女性課（03-3591-5831）

女性農業者に対する支援事例

女性農業者のグループ活動支援

グループの立ち上げや発展に向けた

- ・商品開発
- ・先進事例調査
- ・研修会の開催等

を支援

Farmers Plus (広島県安芸高田市)

- ・女性グループで「シェアキッチン」をレンタルし、規格外の農産物を活用した加工品を開発・販売
- ・農業外の多様な人材と連携



レシピ開発など、地域おこし協力隊出身者の協力を得て実施

女性農業者の育児と農作業のサポート

(一社) 奈義しごとえん (岡山県奈義町)

・町内の「ちょっと手伝って」と「ちょっと働きたい」をマッチングしてきたノウハウを活かし、子育てママや高齢者等による女性農業者の農作業サポートや、なぎチャイルドホームでの一時預かりや自主保育による女性農業者等の子育て支援を実施。



女性が働きやすい環境整備

女性が働きやすい環境となるよう、

- ・男女別トイレ
- ・休憩室
- ・更衣室
- ・託児スペース等

の確保を支援

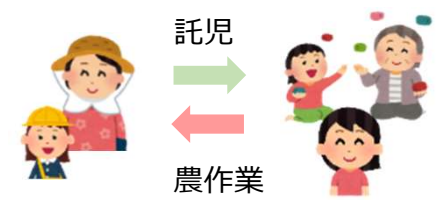
株式会社ほほえみ農園 (愛知県西尾市)

- ・女性スタッフの離職の理由の一つにもなっていた共用トイレを男女別トイレに改修
- ・更衣室・休憩室も整備し、求人の際のPRが可能に



従業員数9名のうち8名が子育て世代の女性従業員であり、今後さらに女性の雇用を進めていく予定

地域で女性農業者の子育て支援や農作業サポートを行うためのポイントや事例集



女性が働きやすい職場づくりに向けて

農業法人における女性活躍に向けた取組の事例

ナカスジファーム（大阪府）

経営規模：ハウス施設300a（なす、きゅうり、その他野菜）
露地野菜70a
従業員数：正社員20名（うち女性10名）
パート20名（うち女性16名）



- ・子育て中の女性が働きやすいよう、「午前中だけ週2日」「子供の急な発熱でも休める」といった柔軟な働き方を実現。
- ・雇用後のミスマッチを防ぐため、地域の関係者で「きらめき農業塾」を立ち上げ。農業法人への就職希望者に対し、農業法人における農作業や雰囲気を実験してもらう取組を実施。

有限会社伊豆沼農産（宮城県）

経営規模：養豚(委託生産含む1,300頭)、水稻3ha
食肉加工、外食、直売所経営など
従業員数：40名（うち女性20名）



- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、通信販売を重点化。
- ・女性2名が主担当となり、消費者の目線を生かして、商品のラインナップを工夫。

農業における女性活躍のポイント集

これからの農業経営のためのハンドブック -女性とはたらく-

<農業法人における女性活躍のポイント>

- ①働きやすい仕組み
休みの取りやすさ、調整可能な勤務時間
- ②働きやすい作業の配慮
パワーベルト、アシストスーツの導入
- ③働く女性の成長支援
昇任や昇進の仕組みの整備、研修機会の提供



<https://myfarm.co.jp/women/pickup/detail/?p=2249>



ポータルサイト Step WAP～農業の働き方改革～



<https://step-wap.jp/>

Step WAP WEB検索



「農業女子プロジェクト」について ～概要～

趣旨

「農業女子プロジェクト」(2013年設立)は、農業内外の多様な企業・教育機関等と連携して、農業女子の知恵を生かした新たな商品・サービスの開発、未来の農業女子をはぐくむ活動、情報発信等を行い、社会全体での女性農業者の存在感を高め、女性農業者自らの意識の改革、経営力発展を促し、職業としての農業を選択する若手女性の増加を図ります。農業女子同士のネットワークづくりにも取り組んでいます。

参加メンバーデータ



農業女子メンバー
全国 **933**名



参画企業
35社



教育機関
8校

(2023年1月現在)

具体的な取組

企業プロジェクト

企業と農業女子メンバーが協同で新たな商品やサービスの開発等を行い、女性農業者の活躍や魅力を発信(それぞれの企業活動の一環として推進)

チーム“はぐくみ”

高校・大学等の教育機関と活躍する魅力ある農業女子メンバーが連携し、農業を志す学生の発掘や動機づけ、意識の向上のための取組を実施

SDGs活動の発信

“農業者のわたしたちができる5つのこと”として農業女子メンバーのSDGs活動を発信

農業女子ラボ活動

メンバー自らの関心の高いテーマについて自主的に勉強会等を実施

SNSやイベント等を活用した
女性農業者の魅力発信

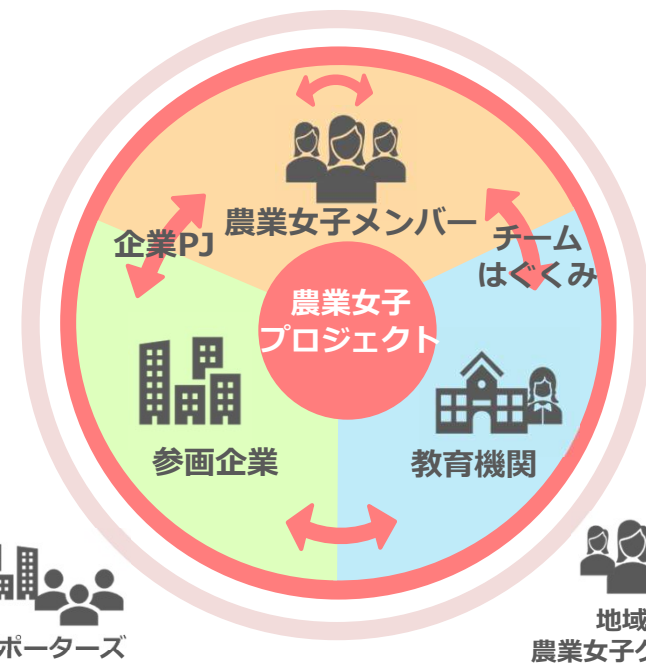


プロジェクトの目的

社会、農業界での
女性農業者の
存在感を高める

女性農業者自らの
意識の改革、
経営力の発展

若い女性の職業の
選択肢に
「農業」を加える



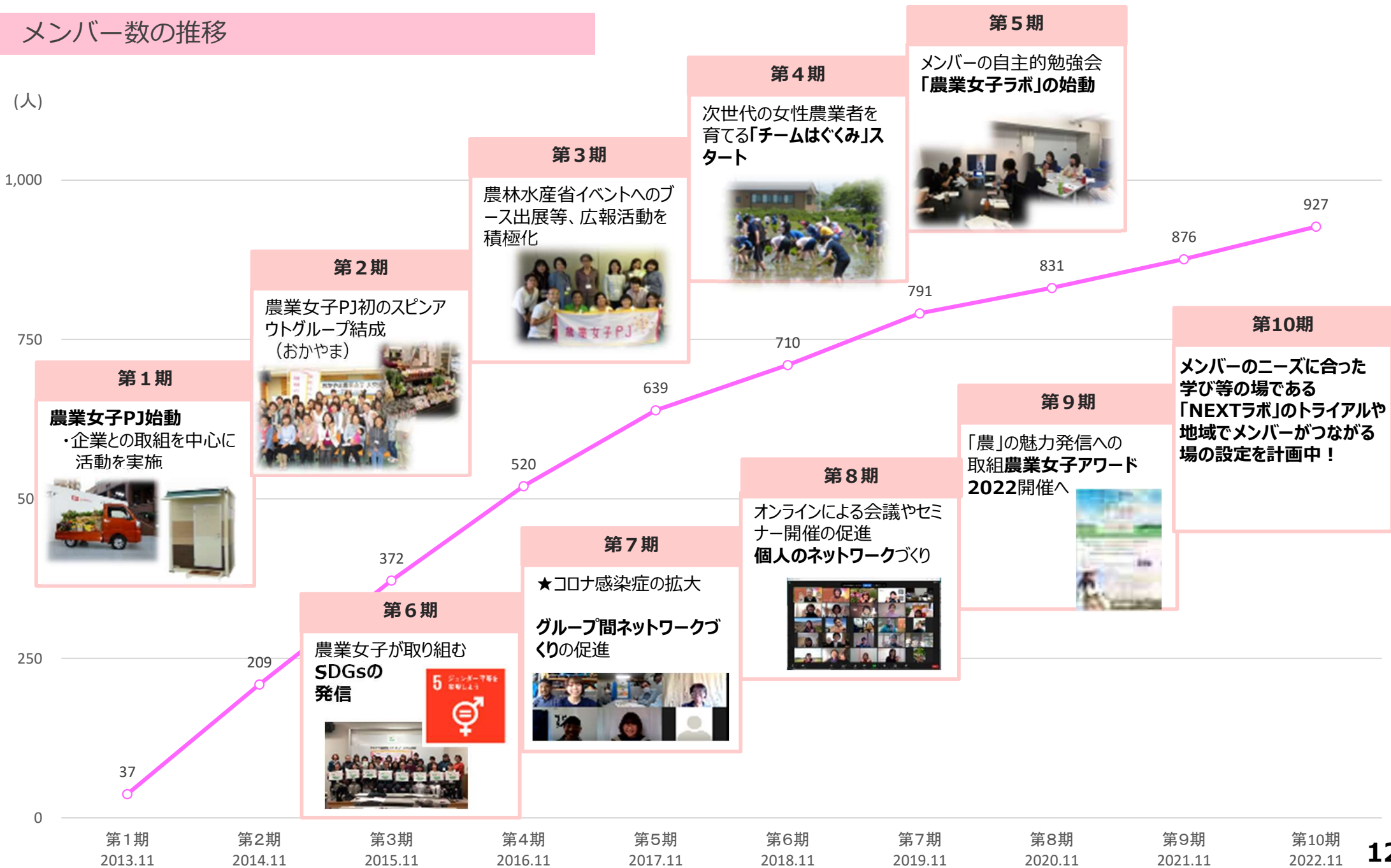
第10期 農業女子プロジェクトの活動方針

(2022年11月～2023年10月)

1. 「NEXTラボ」のトライアル実施
2. 地域でつながる場の設定
3. 「農」の魅力の発信

「農業女子プロジェクト」のあゆみ

メンバー数の推移

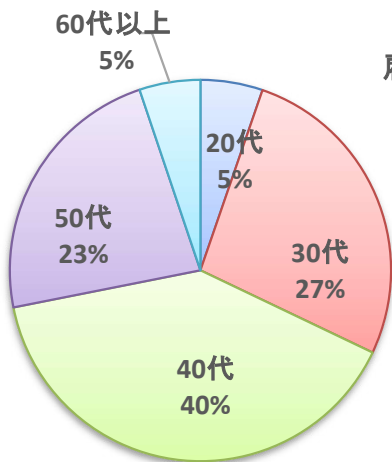




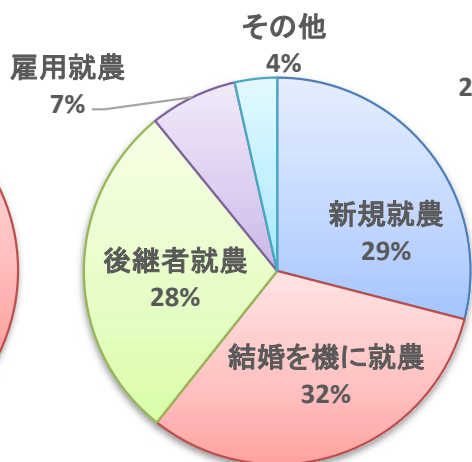
(参考) 農業女子プロジェクト メンバーに関するデータ

- 参加者数は933名 (2023年1月現在)
- 20-40代のメンバーが7割強を占める

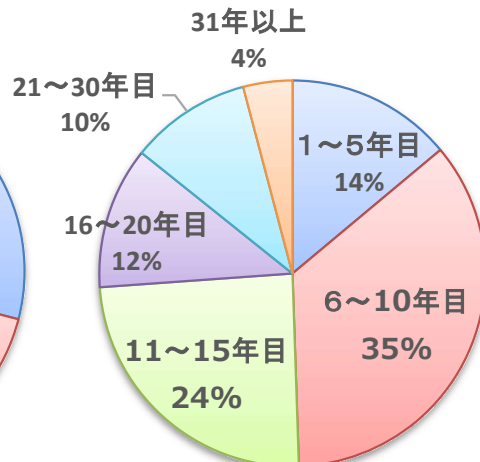
メンバー年齢構成



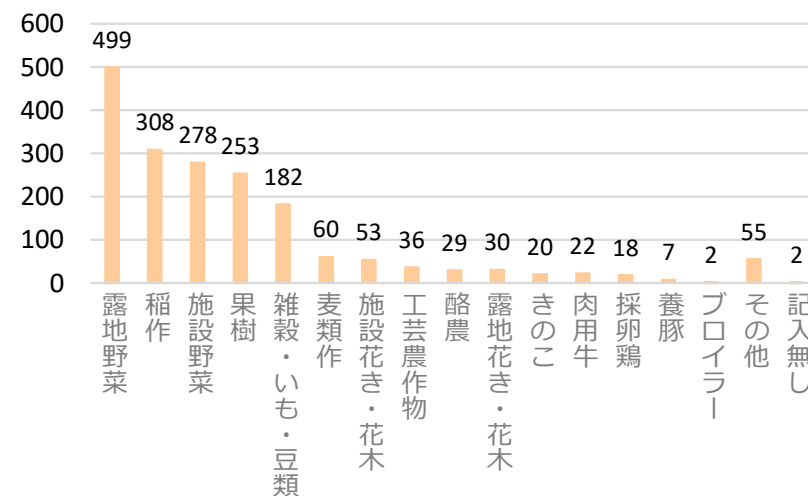
就農ルート



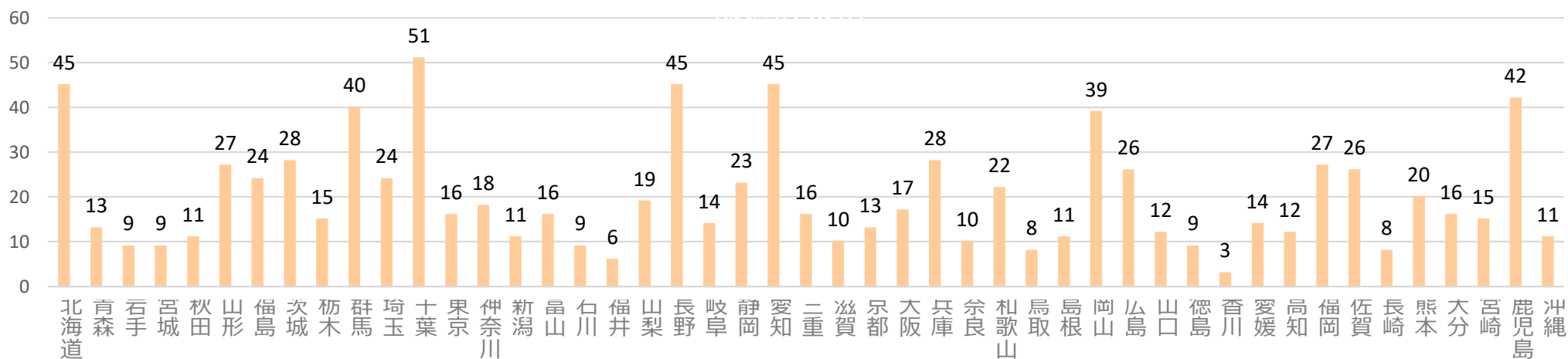
就農歴



農業生産品目



都道府県別メンバー数



農業女子プロジェクト参画企業

合計 35社 

第1期
(2013.11~)

井関農機

「夢ある'農業女子'応援Project」

ダイハツ工業

農業女子マルシェ×ハイゼットトラック全国展開

モンベル

フィールドウエア開発プロジェクト

タニタ

郷土料理でつながろうプロジェクト

三越伊勢丹

農業女子とお客様を繋ぎ、日本の農業の未来を創る

サカタのタネ

ハッピーベジタブルで「新野菜」の需要創造！プロジェクト

丸山製作所

ウルトラファインバブル農業女子を応援PJ

第2期
(2014.11~)

SHARP

「スマート農業技術の知見アップ」プロジェクト

東邦

汚れも悩みもスッキリ！農業をもっと楽しく！プロジェクト

東和コーポレーション

「あなたに贈る、あなたと創る」プロジェクト

バンダイナムコエンターテインメント

『農業×エンタメ』創出プロジェクト

第3期
(2015.11~)

城北信用金庫

「作る」から「創る」へ！ビジネス&ライフ応援PJ

フマキラー

「素敵・未来・ガーデン」プロジェクト

第4期
(2016.11~)

豊島

農業女子的ファッション改革PJ

コビ`/コビ`ウイズ

「おいしい！」を未来までつなげようプロジェクト

大日本印刷

農業女子の未来のあたりまえをつくるPJ

近正

農作業を快適に!! 農業女子サポートPJ

カネコ総業

使いやすい便利用品の開発と動画マニュアルの拡充

第5期
(2017.11~)

日本農薬

明日の農業女子を考える日農PJ

楽天

楽天ラクマ「産地直送・こだわり食品」

象印マホービン

農業女子 In ライフスマイルプロジェクト

アイアグリ

農家のみなさんに届け！

Kewpie

あいち みんなのサラダ

第6期
(2018.11~)

温泉道場

農女プロデューズ 替わり風呂PJ

桃谷順天館

美味しく食べて、腸からキレイに！ Bistro M's PJ

第7期
(2019.11~)

全国農協観光協会

農業女子つなぐプロジェクト

日本品質保証機構

農業女子プロジェクト GAP講座

ヘッズ

くだものギフト&生花ギフトに付加価値を

ミズホ

「食べる健康!美味しいは安全 M1システム(農法)」

カクイチ

カクイチ A-SITE を活用した農業女子活動促進



第8期
(2020.11~)

ミズノ

モノ・コト農業改善プロジェクト

味の素/シーサライ

「アミノ酸から作物の元気を広げよう！」プロジェクト

NTTレゾナント

マルシェ農業女子プロジェクト

CROSS PLUS

農業女子と考える「ワークライフファッション」

マイファーム

「仕事としての農業、いいかも!」と思ってもらえるようなWEBメディアを通じた情報発信



これまでの企業プロジェクトの主な成果

井関農機

女性も使いやすい農業機械を開発

◆農業女子草刈機『プチもあ』

[2017.12]

- ・動画で使用方法等を確認できるQRコードを添付
- ・サイドクラッチレバーやグリップを操作しやすく改良



◆耕耘機『ちょこプチ』 [2016.12]

◆トラクタ『しろプチ』 [2015.6]

カネコ総業

女性も使いやすい農具を開発

◆【Lacuno】シリーズ

[2021.1]

- ・手になじみ、作業しやすく疲れにくい
らくらくグリップシリーズ「Lacuno」
(ショベル・キッズ鎌・鍬)の開発



◆【Lacuno】シリーズ

(鎌・鍬・レーキ)

[2018.11]



ダイハツ工業

女性目線の軽トラック開発

◆女性目線の軽トラックの開発

[2014.9]

- ・カラフルな全8色のボディーカラー
- ・UVカットガラス採用。
フロアの高さを下げるなど乗降しやすく。



モンベル

農作業も快適な作業着を開発

◆フィールド クールパーカ Women's

[2021.1]

- ・農業女子の意見を取り入れて、素材やシルエットにこだわり、暑い季節の農作業を快適にする速乾性・通気性に優れたパーカを開発



◆フィールドもんぺ

[2019.3]

◆フィールド レイン ジャケットWomen's・

フィールド レイン パンツWomen's [2018.9]

◆クリマプロ フィールドストレッチ

カバーオールwomen's [2016.9]

楽天

ネット販売で農業女子をPR

◆「ラクマ」にて農業女子の野菜・

加工品販売 [2017.11~]

- ・農業女子の魅力が詰まった特設サイトも開設
- ・ECで顔の見える販売を実現



農業女子PJ × Rakuten ラクマ

全国農協観光協会

都会の女性と農業女子をつなぐイベントを開催

◆都心部でマルシェ開催【農業女子

つ・な・ぐPJ】 [2020.11~]

- ・農業に馴染みのない新宿や丸の内、表参道、日本橋といった都心部でマルシェを開催
- ・オンラインで収穫体験や料理体験を開催



教育機関と未来の農業女子をはぐくむ活動を展開



チーム“はぐくみ”

第3期
(2015.11～)

東京農業大学

新たなワークスタイルを提案するkawaii農業女子育成PJ

浦田女子高等学校

農業からはばたけ！チャレンジ&応援PJ

第4期
(2016.11～)

産業能率大学

大学生(女子大生)による農業女子PJのInstagramによる情報発信

第5期
(2017.11～)

近畿大学

近大流農業女子育成PJ

東京家政大学

ワークライフバランスin農業女子プロジェクト

桜美林大学

農業のリベラルアーツ

第6期
(2018.11～)

山形大学

地域がはぐくむ未来の農業女子

第9期
(2021.11～)

南九州大学

Farm to Table 南九州大学農業女子PJ

東京農業大学

- 卒業生である農業女子メンバーが母校で講演
- 農業女子メンバー・自治体・参画企業と連携した取組を実施



産業能率大学

- Instagramを使った農業女子の情報発信
- 農業インターンシップも体験しつつ経営の観点からの情報発信を行う



桜美林大学

- 農業女子メンバーをゲスト講師に迎え、農業女子のワーク・ライフ・バランスの現状と課題を分析



東京家政大学

- 企業や地域のコミュニティと連携し、減塩レシピをPR
- 農業女子メンバーによるセミナー開催



浦田女子高等学校

- 授業の中で農業女子プロジェクトメンバーや就農した卒業生による講演を実施
- 農業女子メンバーの農場でインターンシップ
- 日本の食文化を考える授業



近畿大学

- 卒業生である農業女子メンバーが母校で講演
- 農業女子メンバーの農場でインターンシップを実施



山形大学

- 農業女子メンバーと学生によるワークショップ
- 農業女子プロジェクトメンバーによる講義
- 農業女子メンバーの農場でのインターンシップ



南九州大学

- 宮崎県の女性農業者グループ、農業女子PJメンバーと共に、Karada Good Miyazakiフェスタ 2021に出店
- 販売した農産物の栽培をお手伝い



「農業女子プロジェクト」活動の拡大、発展

- 農業女子メンバーが地域グループを立ちあげ、積極的に活動を展開。
- 参画企業が連携したPR活動も実施。
- やりたいことの自主提案を推進（農業女子ラボ）

AGRI BATON PROJECT



農業女子PJの地域版グループ

農業女子プロジェクトから派生した地域版グループ（スピンアウト）も全国に7グループ発足。
メンバーのアイデアや課題に共感する企業とのコラボ活動の実施が促進。



農業女子のグループが「農業って楽しい！」を伝えるための絵本を制作し、全国で読み聞かせを実施

山形大学×やまがた農業女子×井関農機
農業機械セミナー



地域版グループ（スピンアウト）を含めて全国では様々な農業女子グループが活発に活動中です！



詳しくは特設ページでご紹介しています。



令和4年度 農林水産祭 内閣総理大臣賞 (女性の活躍部門)



セブンフーズ株式会社 (代表取締役 前田佳良子さん)
(熊本県菊池郡大津町)

セブンフーズ株式会社は、代表取締役である前田さんが経営する養豚一貫経営であり、IT等先進技術を積極的に導入することで、大規模経営を確立しました。

完全週休二日制、長期休暇制度、マタニティプログラム制度を活用した職場環境や給与体系の改善を図ると同時に、野菜部門での機械化・自動化により肉体労働の負荷を軽減させる施策を実施したことで、従業員満足度が向上し、離職率の低下へと繋がっています。

社長が女性であるだけでなく、役職員への女性の積極的な登用や地域の子どもたちを招待した農育活動、女性の視点でアニマルウェルフェアにも取り組んでいます。

セブンフーズは、養豚・野菜生産事業を核として、耕種農家や食品会社など食に関わる人々を環にした食品リサイクルループの取組拡大により、持続可能な循環型農業を実践しており、今後の発展が期待されます。



【オートソーティングシステム】
肥育豚が餌を食べる時に通過するソーターで、自動で体重が計られ、設定体重に達した豚だけが出荷豚房へ選別される適正体重自動出荷システム

食料・農業・農村基本法 (H11.7)

第二章 基本的施策

第三節 農業の持続的な発展に関する施策

(女性の参画の促進)

第二十六条 国は、男女が社会の対等な構成員としてあらゆる活動に参画する機会を確保することが重要であることにかんがみ、女性の農業経営における役割を適正に評価するとともに、女性が自らの意思によって農業経営及びこれに関連する活動に参画する機会を確保するための環境整備を推進するものとする。

食料・農業・農村基本計画 (R2.3 閣議決定)

【第1 食料、農業及び農村に関する施策についての基本的な方針】

1. これまでの施策の評価及び食料・農業・農村をめぐる情勢の変化と課題

(3) 農業の持続性確保に向けた人材の育成・確保と生産基盤の強化に向けた施策の展開

農業者の大幅な減少等により、農業の持続性が損なわれる地域が発生する事態が懸念されることから、これを防ぎ、我が国農業が成長産業として発展していくためには、(中略)新規就農の促進、女性の経営・社会参画、高齢者・障害者などを含む多様な人材の確保、新たな農業支援サービスの定着などを進め、農業現場を支える多様な人材や主体の活躍を促すことが重要である。(後略)

【第3 食料、農業及び農村に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策】

2. 農業の持続的な発展に関する施策

(1) 力強く持続可能な農業構造の実現に向けた担い手の育成・確保 ②経営継承や新規就農、人材の育成・確保等

工 女性が能力を発揮できる環境整備

農業や地域に人材を呼び込み、また、農業を発展させていく上で、農業経営における女性参画は重要な役割を果たしているため、認定農業者の経営改善計画申請の際の共同申請や補助事業等の活用を推進する。また、地域農業に関する方針策定への女性参画を推進するため、地域をリードできる女性農業者を育成し、農業委員や農協役員への女性登用などを一層推進するとともに、全国の女性グループ間ネットワークを構築する。さらに、「農業女子プロジェクト」における企業や教育機関との連携強化、地域活動の推進により女性農業者が活動しやすい環境を作る。またこれらの活動を発信し、若い女性新規就農者の増加につなげる。

(2) 農業現場を支える多様な人材や主体の活躍 ③多様な人材が活躍できる農業の「働き方改革」の推進

(前略) 農業の現場で必要な人材を確保していくためには、他産業と遜色ない働きやすい環境を整え、就職氷河期世代を含む若者、女性、他産業を退職した人材、高齢者、障害者、生活困窮者等、多様な人材を確保し、それぞれが持つ知見、経験、能力などの強みを活かしつつ、農業経営体や地域を支える取組の推進が必要である。このため、(中略) 家族経営協定の締結による就業条件の整備、農福連携の推進など、誰もがやりがいがあり、働きやすい環境づくりを推進する。

(3) 担い手等への農地集積・集約化と農地の確保 ①担い手への農地集積・集約化の加速化

ア 人・農地プランの実質化の推進

担い手への農地の集積・集約化に当たっては、(中略) 人・農地プランの実質化を推進する。また、地域における話し合いへの女性農業者の参画を促進する。

3. 農村の振興に関する施策

(3) 農村を支える新たな動きや活力の創出 ③ 多面的機能に関する国民の理解の促進等

農業の多面的機能に関する国民の理解の促進を図るため、(中略) 地域の若者や女性の発想、農業以外の分野からの新たな視点により、農村の魅力の掘り起こし・磨き上げ・発信を促進し、(中略) 国民への理解の促進・普及等を図る(後略)。

第5次男女共同参画基本計画 (R2.12 閣議決定)

第2部 政策編

I あらゆる分野における女性の参画拡大

【第3分野 地域における男女共同参画の推進】

2 農林水産業における男女共同参画の推進

農林水産業の発展、農山漁村への人材の呼び込みのためには、女性が働きやすく暮らしやすい農山漁村にすることが重要であり、女性が地域の方針策定に参画し、女性の声を反映させていくことが必要である。

「田園回帰」の動きが見られる中で、移住や定住、地域おこし協力隊などで農林水産業や農山漁村との関わりを志向する都市部の女性が増えている。例えば農業においては、親元就農や結婚とともに就農するだけでなく雇用就農や新規参入もみられるなど、女性の農林水産業への関わり方は多様化しており、それぞれの形態に応じたきめ細かな支援が必要である。

このため、「食料・農業・農村基本計画」等に基づき、女性の経営への参画を推進するとともに、地域をリードする女性農林水産業者を育成し、農山漁村に関する方針策定への女性の参画を推進する。また、女性が働きやすい環境の整備や育児・介護等の負担の軽減、固定的な性別役割分担意識とこうした意識に基づく行動の変革に向けた取組を推進する。

女性活躍・男女共同参画の重点方針2022 (令和4年6月3日すべての女性が輝く社会づくり本部・男女共同参画推進本部決定)

IV. 女性の登用目標達成 (第5次男女共同参画基本計画の着実な実行)

(5) 地域における女性活躍の推進

① 農業委員や農業協同組合役員等における女性割合の向上

○ 農林水産業における政策・方針決定過程への女性参画の推進

農業委員や農業協同組合、森林組合、漁業協同組合の役員及び土地改良区等の理事に占める女性の割合の向上や女性登用ゼロからの脱却に向けた取組などを一層推進することとし、地方公共団体、農林水産団体等に対して、具体的な目標の設定や女性の参画を促進する仕組みづくりを働きかける。

農業委員会について、農業委員会等に関する法律第8条第7項の規定の趣旨を十分に踏まえた上で農業委員に占める女性割合の目標や女性委員の登用のための具体的取組を定めるよう、全国農業会議所及び都道府県を通じて、各市町村に促す。女性委員が登用されていない農業委員会を令和7年度までに0にするという目標のところ、いまだに女性委員が0である254の農業委員会(令和3年度)に対する働きかけを重点的に行う。市町村の目標及び具体的取組の策定状況、女性委員の登用実績について、令和4年度中に公表し、その結果を踏まえてさらに取組を強化していく。

農業協同組合について、農業協同組合法第30条第13項の規定の趣旨を十分に踏まえた上で役員に占める女性割合の目標や女性役員の登用のための具体的取組を定めるよう、全国農業協同組合中央会及び都道府県を通じて、各農業協同組合に促す。女性役員が登用されていない農業協同組合を令和7年度までに0にする目標のところ、いまだに女性役員が0である100の農業協同組合(令和2年度)に対する働きかけを重点的に行う。農業協同組合の目標及び具体的取組の策定状況、女性役員の登用実績について、令和4年度中に公表し、その結果を踏まえてさらに取組を強化していく。

土地改良区(土地改良区連合を含む。)について、女性理事が登用されていない組織数を令和7年度までに0にするという目標のところ、現状では3,409(令和2年度)と目標到達には厳しい状況である。このため、土地改良長期計画(令和3年3月23日閣議決定)に基づき、国・都道府県・市町村及び都道府県土地改良事業団体連合会等が都道府県ごとに設置する協議会を通じて、土地改良区に対する情報提供など働きかけを強化するとともに、員外理事制度を活用した女性理事の登用を積極的に促す。また、理事のみならず総代における女性の割合が極めて低い現状を踏まえ、関係者の女性登用に対する理解の促進や意識改革を一層推進し、土地改良区の女性職員のネットワーク化などにより、女性活躍に向けた環境づくりを促進する。

また、女性登用の取組事例と推進のポイントをまとめた手引書の活用等により、農業委員会や農業協同組合等の女性登用を後押ししていく。

○ 農林水産業における女性の活躍の推進

農林水産業で働く女性にとって扱いやすいデジタル技術を活用したスマート農林水産業の推進、農業女子プロジェクトにおける企業・教育機関と連携した女性が扱いやすい農業機械等の開発、育児と農作業の両立などに関するサポート活動、更衣室や託児スペースの整備、女性の受入体制づくりのための農業法人向けマニュアルの普及等の農林水産業において女性が活躍しやすい環境を整備する。

農山漁村女性の日について

- 農山漁村女性の日は、農林水産業・農山漁村の発展に向け、女性が農林水産業の重要な担い手として、より一層能力を発揮していくことを促進するため、農林水産省は、毎年3月10日を「農山漁村女性の日」と設定。
- 3月10日に込められた想い
 - ・農作業が比較的少なく社会生活においても女性が学習や話し合いを共にする条件が整っていること
 - ・農山漁村女性の3つの能力(知恵、技、経験)をトータル(10)に発揮してほしいという願い
- 今年度も3月に農山漁村女性活躍表彰の表彰式等を開催。女性の活躍を考えるきっかけに！

